

もくじ

第1回	説明文・論説文(1)／工業の種類	4
	基事実と根拠(1)／作文の書き方(1)	4
	基工業の種類	15
第2回	説明文・論説文(2)／対話や資料を読んでその内容を整理する	16
	基事実と根拠(2)／名詞・動詞・形容詞・形容動詞	16
	適 対話や資料を読んでその内容を整理する	27
第3回	物語文(1)／工業のさかんな地域	28
	基場面・登場人物の関係／作文の書き方(2)	28
	基工業のさかんな地域	39
第4回	随筆文(1)／各工業に適した立地・自然条件	40
	基随筆文の特徴／気持ちを表す言葉	40
	適 各工業に適した立地・自然条件	51
第5回 総合		
	第1回～第4回のまとめ 国語編	52
	第1回～第4回のまとめ 社会編	63
第6回	説明文・論説文(3)／運輸・交通	64
	基段落と段落の関係(1)／作文(1)	64
	基運輸・交通	75
第7回	説明文・論説文(4)／会話を読んでその内容をまとめる	76
	基段落と段落の関係(2)／接続詞・副詞・連体詞	76
	適 会話を読んでその内容をまとめる	87
第8回	物語文(2)／貿易	88
	基心情の変化／作文(2)	88
	基貿易	99
第9回	随筆文(2)／交通網の発達と貿易の変化	100
	基事実と感想／難しい和語	100
	適 交通網の発達と貿易の変化	111
第10回 総合		
	第6回～第9回のまとめ 国語編	112
	第6回～第9回のまとめ 社会編	123

第11回	説明文・論説文(5)／情報の発信	124
	基 要点と要旨(1)／作文(3)	124
	基 情報の発信	135
第12回	説明文・論説文(6)／会話や資料を読んでその内容をまとめる	136
	基 要点と要旨(2)／助詞・助動詞(1)	136
	適 会話や資料を読んでその内容をまとめる	147
第13回	物語文(3)／情報の活用	148
	基 心情と言動(1)／作文(4)	148
	基 情報の活用	159
第14回	随筆文(3)／情報の利便性・危険性	160
	基 心情と言動(2)／カタカナ語	160
	適 情報の利便性・危険性	171
第15回 総合		172
	第11回～第14回のまとめ 国語編	172
	第11回～第14回のまとめ 社会編	183

第16回	説明文・論説文(7)／森林と自然環境	184
	基 説明文・論説文の主題／作文(5)	184
	基 森林と自然環境	195
第17回	随筆文(4)／公害と自然災害	196
	基 随筆文の主題／助詞・助動詞(2)	196
	基 公害と自然災害	207
第18回 総合		208
	第16回～第17回のまとめ 国語編	208
	第16回～第17回のまとめ 社会編	219

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(小檜山博「図書館にて」より)

40 35 30 25

ポイント

● 随筆では事実と感想を読み分ける。

- ・ 随筆文では、生活の中などで起こったさまざまな出来事が書かれ、それに関する筆者の感想や意見などが書かれます。書かれていることが実際に起こったことなのか、筆者が思ったことなのかを分けながら読むことが大切です。
- ・ 筆者ならではの感想や思いに注目しながら読みましょう。

□ (5) — 線④ 「いままで数多く見てきた都会の図書館での光景」とありますが、それとは対照的な内容を表している言葉を五字で探して、書きぬきましょう。

□ (6) — 線⑤ 「大声で笑いたい衝動」とありますが、「ぼく」はなぜそれを感じましたか。その理由として最もふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えましょう。

ア 本を読むことについて、これまでの狭い考え方からぬけ出すことができたと感じたから。

イ 読書というのは、どんな地方においても広く行われているものだを知って、感動したから。

ウ 自分で好きな本を探して読むことの楽しさを知る多くの人がいたことがうれしかったから。

エ 本のすばらしさについて、多くの人々と話すことができることを知って、楽しくなったから。

□ (7) — 線⑥ 「息が詰まった」とありますが、「ぼく」がそうなったのは、男たちのどんな様子を見たからですか。次の文の□に合うように、文章中から八字で書きぬきましょう。

男たちが背筋を座っている様子。

演習問題

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(注) 「辻まこと」キノコをさがしに行つてクマにおこられた話」より)

(注) 国定忠次…江戸時代の有名な親分。

十間…約十八メートル。

躊躇…ためらうこと。

稜線…山の峰と峰をつなぐ線。

45 40 35 30 25

□(1) 「私」は、何を見つげるために山にいましたか。文章中から四字で探して、書きぬきましょう。

□(2) 線①「私はすこしも怖ろしさを感じていなかった」とありますが、それはなぜですか。その理由を文章中の言葉を使って、四十字以内で書きましょう。

□(3) 線②「呆然と熊を眺めていた」とありますが、熊の姿を間近で見ると、「私」はどのような印象を受けましたか。文章中の言葉を使って、三十五字以内で書きましょう。

□(4) 線③「やっといくらか気持ちを落ち着けることができた」とありますが、熊から逃げるときに必死な思いであったことがわかる言葉を、文章中から五字で探して、書きぬきましょう。

2 次の文章1・文章2を読んで、あとの問いに答えましょう。

文章1

「私」は前日に見た、理科の学習用映画の中の、揺れる桜の枝に惹きつけられたが、撮影者がわざと揺さぶっていたのだろうとも思っていた。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(大江健三郎「私という小説家の作り方」より)

(注) 誇張…おおげさに言うこと。

文章2

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(日野原重明「15歳の寺子屋 道は必ずどこかに続く」より)

(注) 肺結核…肺が結核菌に感染して起こる病気。治すのに長い時間がかかる。

レコード…音を円盤に録音したもの。

蓄音機…レコードを再生するための機械。

胸膜炎…肺の外側の膜が炎症を起こす病気。

床ずれ…長い間寝ているうちに、皮膚に傷がつくこと。

20

15

10

5

□(1) ———線①「柿の若葉は、際限なく揺れていた」とありますが、これを見た「私」はどのようなことに気づきましたか。文章中の言葉を使って、三十字以内で書きましょう。

□(2) ———線②「たったひとつの楽しみも音楽でした」とありますが、「私」にとって音楽とは「楽しみ」以外にどのようなものでしたか。文章中から七字で書きぬきましょう。

□(3) 文章1、文章2は、どちらも「幼かった頃の忘れられないこと」について書かれています。これらを読んで、あなたの「これまでに経験した中で、忘れられないこと」を次の条件にしたがって、書きましょう。

《条件1》あなたの忘れられないこととして、心に深く残っていることを、具体的に書きましょう。

《条件2》それが忘れられない理由も書きましょう。

とよ。この場合の米は、アメリカ合衆国の略称だね。」

とおる：「それはやはり輸出や輸入が関係しているのかな。」

たまみ：「うん。アメリカが貿易を行っている国々の中で、中国との貿易では、はなはだしくアメリカの(D)ことが問題になって貿易まさつに発展したのよ。」

とおる：「そういえば、関税も貿易まさつの原因になるらしいね。」

たまみ：「関税って輸入する品物にかかる税金のことかな。」

とおる：「そうそう、たとえば関税の税率が10%だとしたら、100円で輸入した品物の場合、国内でのねだんはいくらになるかな。」

たまみ：「えっと、税率が10%だから、100円の輸入品にかかる関税は10円になるわね。それを輸入品のねだんに足して110円。それが国内でのねだんだわ。」

とおる：「正解。でも、現在は関税をできるだけなくしていこうという動きが進んでいるんだよ。」

たまみ：「そうなんだね。E関税をなくしていくとどうなるのかしら。」

とおる：「どうなるんだろうね。2018年にTPPという貿易のしくみが成立したけど、これからの日本は、FTPPに参加している国々との間で関税をなくしていくらしいよ。そのことによって、ぼくたちの生活にどんなえきょうが出るかを見ていかないといけないね。」

- (4) 資料2は、アメリカ合衆国とおもな国々との貿易の輸出額と輸入額を表したものです。資料2を見て、会話文中の(D)にあてはまる内容を次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。()

- ア 輸出額が多くなっている
- イ 輸入額が多くなっている
- ウ 輸出額が輸入額よりも多い
- エ 輸入額が輸出額よりも多い

- (5) 下線部Eについて、関税の税率と貿易額はどのような関係にありますか。資料3を見てかんたんに書きなさい。

()

- (6) 右の地図は、下線部FのTPPの参加国を示しています。この地図を見て、TPPの参加国はすべて地球上のどの位置にありますか。かんたんに書きなさい。

()

資料2 アメリカ合衆国の輸出入

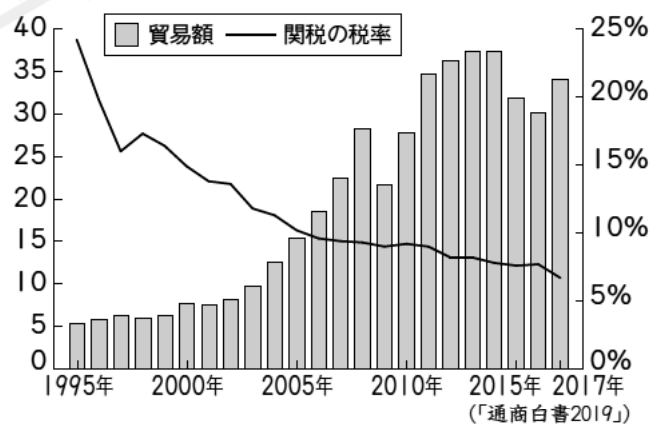
貿易相手国	輸出額	輸入額
中国	1208億ドル	5404億ドル
メキシコ	2660億ドル	3526億ドル
日本	760億ドル	1444億ドル
イギリス	667億ドル	614億ドル
オランダ	486億ドル	248億ドル

(2018年)

(アメリカ合衆国商務省資料)

資料3 世界の関税の税率と貿易額

(兆ドル)



演習問題

1 日本の貿易^{ぼうえき}について、とおるさんとたまみさんが話し合っています。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

とおる：「貿易というのは、国と国との間で品物を売り買いすることだよ。その品物の代金はどのようにしてはらっているんだろうか。」

たまみ：「たとえば、日本とアメリカ合衆国^{がっしゅうこく}の貿易だったら、日本のお金である円とアメリカのお金であるドルが使われているはずよ。」

とおる：「でも、日本のお金である円が、そのままアメリカで使えるというわけではないよね。」

たまみ：「そうだね。だから日本の品物をアメリカに売るときは、円をドルに交換^{こうかん}する必要があるの。」

とおるさんは、円安や円高ということばを聞いたことがないかしら。」

とおる：「テレビのニュースなんかで聞いたことがあるよ。円安ってどういうことだろう。」

たまみ：「ドルに対する円の価値^{かち}が低くなることだね。円とドルを交換する比率は変化しているんだけど、たとえばA 100円を1ドルに交換できていたときから、200円じゃないと1ドルに交換できないときに変化したら、それを円安というのよ。」

とおる：「なるほど。円安になったら、アメリカは日本の品物を(B)ということだね。」

たまみ：「さすが計算^{とくい}が得意なおとるさんだね。そういうことだよ。昔は、ドルに対する円の価値が今よりも低かったんだ。だから、日本はアメリカにどんどん品物を輸出^{ゆしゅつ}していたんだよ。」

とおる：「そうなんだ。でも、それって貿易まさつがおこっちゃうことにならないの。」

たまみ：「もちろん、貿易まさつがおこったわよ。対象となる品物を変えつつね。ある意味、C 日本とアメリカ合衆国との関係は、貿易まさつの歴史^{れきし}だったともいえるんじゃないかしら。」

□(1) 下線部Aについて、次の文中の(①), (②)にあてはまる数字を書きなさい。

①() ②()

100円=1ドルのとき、アメリカで10ドルのねだんがついている日本の品物は、日本では(①)円のねだんがつきます。200円=1ドルに変わると、アメリカで10ドルのねだんがついている日本の品物は、日本では(②)円のねだんがつきます。

□(2) (1)で答えたことを参考にして、(B)にあてはまる内容を次のア～ウから一つ選び、記号で答えなさい。()

- ア 高いねだんで買わないといけない
- イ 買うねだんが変わらない
- ウ 安いねだんで買うことができる

□(3) 下線部Cについて、資料1は、日本とアメリカ合衆国との貿易まさつの歴史をまとめたものです。資料1から、貿易まさつの対象となった品物にどのような変化が読み取れますか。「重化学工業」、「軽工業」という語を用いてかんたんに書きなさい。

資料1 日米貿易まさつの歴史

年	対象の品物
1957年	めんせいひん 綿製品
1972年	せんいひん、てっこう せんい品、鉄鋼
1977年	カラーテレビ
1981年	自動車
1985年	ほんどうたい 半導体
1986年	工作機械

とおる：「これもテレビのニュースで聞いた話なんだけど、米中貿易まさつって何のこと？」

たまみ：「それは、アメリカ合衆国と中国(中華人民共和國^{ちゅうかじんみんきょうわこく})との間でおこっている貿易まさつのこ

2 次の先生と生徒の会話文を読んで、あとの問いに答えましょう。

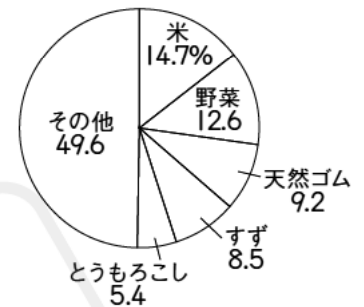
先生：「輸出とは、その国でつくられた品物を外国に売ることです。輸出される品物の割合を調べると、その国の産業のようすが大体わかります。また輸出のありようは移り変わっています。」

あつむ：「日本の輸出のありようも大きく移り変わりましたね。」

先生：「はい。現在の日本の輸出は機械類や自動車せいぞうが大きな割合をしめていますが、85年くらい前はせんい品が半分以上の割合をしめていました。これはどうしてでしょうか？」

さやか：「当時の日本は、せんい工業をふくむ(①)が工業の中心だったからです。」

先生：「その通りです。では、今日は東南アジアにあるタイの輸出の **タイの輸出(1980年)** 変化を勉強しましょう。右のグラフを見てください。」



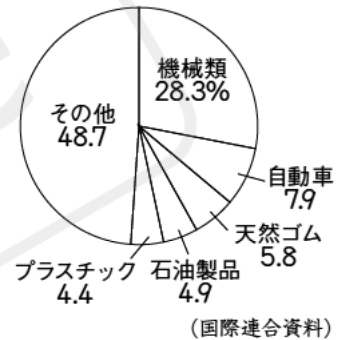
あつむ：「1980年の輸出のグラフの中のすずとは何ですか？」

先生：「銻石の名前です。すずはブリキや青銅などに使われます。」

あつむ：「わかりました。そうすると、1980年のタイは農産物や銻産物の輸出が多かったということになりますね。」

さやか：「2011年になると、タイは機械類などの工業製品せいひんの輸出が中心になっていますね。」

タイの輸出(2011年)



あつむ：「どうして、タイの輸出のありようはこんなに大きく変わったのでしょうか？」

先生：「ここにタイで働く人に関する資料があります。②この資料を見れば、その理由がわかるでしょう。」

さやか：「先生、③タイからの工業製品の輸出が多くなったえいきょうで、日本の加工貿易かこうぼうえきの形がうすれていると聞きましたが、本当なのですか？」

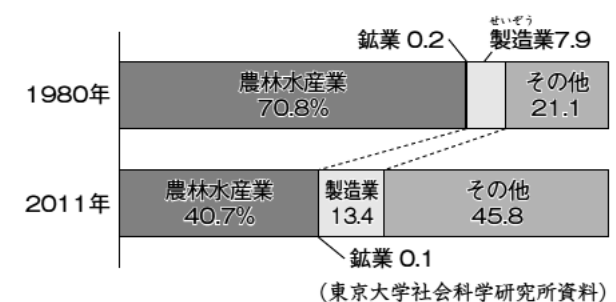
先生：「その資料もあるので、自分で考えてみてください。」

□(1) (①)にあてはまる語を書きなさい。

()

□(2) 下線部②について、資料1を見て、タイの輸出のありようが大きく変わった理由を、かんたんに書きなさい。

資料1 タイで働く人の産業別割合



()

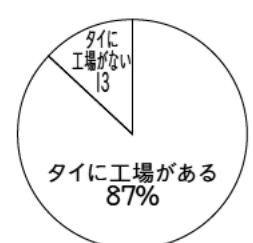
□(3) 下線部③のように考えられる理由を、資料2、資料3をもとにしてかんたんに書きなさい。

資料2 タイの自動車生産台数

2014年	188万台
2015年	191万台
2016年	195万台
2017年	199万台
2018年	217万台

(ジェトロ資料)

資料3 タイと日本の自動車会社



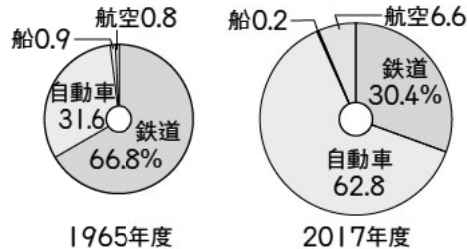
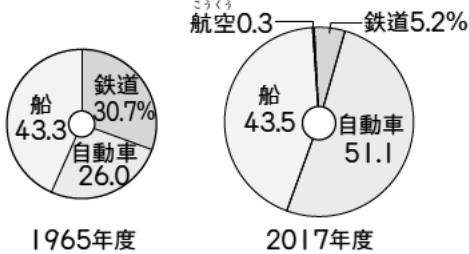
()

基本問題

1 次のグラフは、日本の貨物輸送と旅客輸送にしめる輸送方法の割合の変化を表したものです。これを見て、あとの問いに答えましょう。

貨物輸送 (1965年度=1863億トンキロ
2017年度=4162億トンキロ)

旅客輸送 (1965年度=3825億人キロ
2017年度=1兆4401億人キロ)



(2020年版「日本のすがた」ほか)

□(1) グラフから読み取れることとして正しいものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。
()

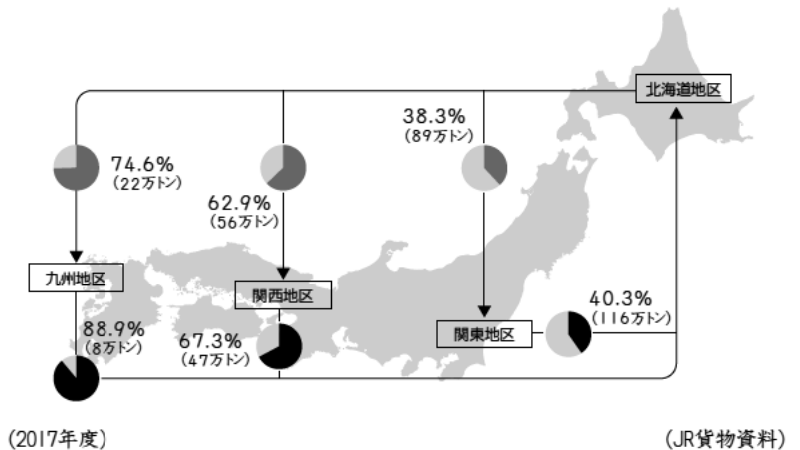
- ア 自動車による貨物輸送の輸送量(トンキロ)は、1965年度から2017年度にかけて、5倍以上に増えた。
- イ 1965年度の船による貨物輸送の輸送量(トンキロ)は、2017年度の鉄道による貨物輸送の輸送量(トンキロ)よりも少ない。
- ウ 鉄道による旅客輸送の輸送量(人キロ)は、1965年度から2017年度にかけて、1500億人キロ以上増えた。
- エ 2017年度の航空による旅客輸送の輸送量(人キロ)は、1965年度の自動車による旅客輸送の輸送量(人キロ)よりも多い。

□(2) グラフのように、鉄道を使った貨物輸送の割合は、1965年度から2017年度にかけて25%ほど減りました。しかし、近年は鉄道を使った貨物輸送のよさが見直されています。このことについてまとめた次の文中の(①), (②)にあてはまる語を書きなさい。

①() ②()

電気をおもな動力にする鉄道は、石油からつくられたガソリンや軽油をおもな動力にする自動車と比べて、(①)の排出量が少なくなっています。そのため、自動車による輸送から、環境にやさしい鉄道による輸送に切りかえる(②)の動きが進んでいます。

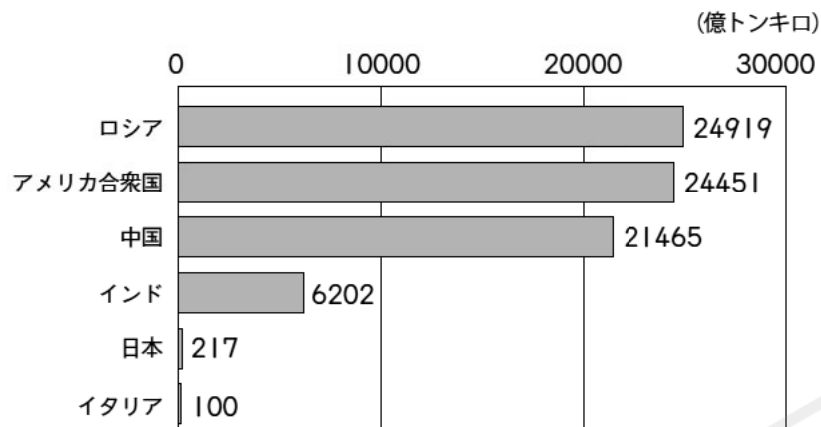
□(3) 右の資料は、北海道と関東・関西・九州の各地区を運ぶ鉄道の貨物輸送量をそれぞれ表したものです。貨物を運ぶきよりの長さど貨物輸送量との関係を、かんたんに書きなさい。



例題 2

しんやさんとのぶえさんは、外国と日本の鉄道による貨物輸送の話をしています。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

資料1 おもな国の鉄道の貨物輸送量(2017年)



(2020年版「日本のすがた」)

資料2 おもな国の面積(2018年)

ロシア	1710万km ²
アメリカ合衆国	983万km ²
中国	960万km ²
インド	329万km ²
日本	38万km ²
イタリア	30万km ²

(2020年版「日本のすがた」)

しんや：「資料1を見ると、日本は鉄道による貨物の輸送量が少ない国なんだね。」

のぶえ：「本当だ。アメリカ合衆国は日本の100倍以上も輸送量があるのにね。」

しんや：「アメリカ合衆国って人口が3億人をこえていたよね。中国やインドはどちらも13億人以上がいる人口大国だし、やはり人口のちがいが原因なのかな。」

のぶえ：「それだと、日本(約1.3億人)とあまり人口が変わらないロシア(約1.5億人)も、日本の100倍以上の貨物輸送量があることが説明できないわよ。」

しんや：「あっ、そうだね。人口のちがいが貨物輸送量のちがいという考え方はまちがいかね。」

のぶえ：「ほら、わたしが持っている資料2と、資料1をあわせて見てごらんなさいよ。」

線部とありますが、資料1と資料2をあわせて見て、鉄道による貨物の輸送量のちがいについて、「面積」という語を使って、かんたんに書きましょう。

③ 考え方

STEP ● 1 資料1の中で、鉄道による貨物の輸送量が日本より少ない国は(①)です。

STEP ● 2 日本とあまり人口が変わらないロシアは、日本に比べて、国土の面積が(②)万km²も広がっています。

STEP ● 3 日本と(①)の国土の面積の差は(③)万km²です。

交通網の発達と貿易の変化

テーマ 交通網の発達によって、人や物の輸送が便利になり、外国との貿易も拡大しました。交通、運輸、貿易が広がってきたいきさつや、それぞれを結んでいる関係について学びます。

例題 1

たけみさんとまりえさんは、次の2まいの写真について話をしています。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。



- たけみ：「この2まいの写真には、港で作業をしているようすが写っているね。」
 まりえ：「港に着いた船から貨物がおろされているのは、両方の写真とも同じだね。」
 たけみ：「左の写真は、船からおろした貨物を人力で運んでいるようだよ。」
 まりえ：「それに比べて、右の写真では、クレーンが貨物をトラックに積みこんでいるわ。」
 たけみ：「右の写真では、貨物をトラックまですーっと運んでいる感じだけど、左の写真では、船からおろした貨物をトラックに積むのにも時間がかかりそうだね。」
 まりえ：「右の写真でクレーンが運んでいる貨物はとても重くて、人力で運ぶのは無理だと思う。大型のトラックの荷台とほぼ変わらない長さだし、高さもかなりあるわよ。」
 たけみ：「そうすると、右の写真のようにして、貨物を船からトラックに積みかえる方が効率がいいという結論になるね。」

線部とありますが、右の写真の方が効率がいい点を、かんたんに書きましょう。

③ 考え方

- STEP ● 1 左右の写真のうち、1つの貨物の大きさが小さいのは、(①)の写真の方です。
 STEP ● 2 右の写真に見られる、大きな箱の形をした貨物を(②)といいます。
 STEP ● 3 日本の貨物輸送では、トラックなどの自動車、決められた時間や場所、相手にとどけるしくみである(③)の中心になっています。